

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-1
要綱上の事業名称	(39) 観光資源発掘・PR事業
細要素事業名	鳥の海湾環境改善対策事業(平成25年度分)
<p>事業概要</p> <p>荒浜地区集団移転跡地で計画している観光ゾーンの核である「鳥の海」は、時代の変遷により健全性を失いつつあり、その上震災による大きな攪乱を受けた。本来の健全性を回復するには何らかの人為的働きかけが必要であると想定されるため、流入河川の流量調査等を行い「鳥の海」の現状を把握すると共に、健全性を回復させるための具体的な手法の検討を行うものである。</p> <p>亙理町震災復興計画 記載箇所 P35-36 水産業の復興</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成24～25年度> 「鳥の海」の環境調査、関係機関連絡調整会議等。</p> <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>「鳥の海」の健全性の回復は水産業における漁場(アサリ、海苔、稚仔魚の養育場)の再生を図るとともに環境省が定める「日本の重要湿地500」に選定されている貴重な渡り鳥の飛来地としての機能を復元させる。また、教育面では、干潟等に生息する多種多様の海洋生物の観察や海洋性スポーツのカヌー・ヨットの体験学習に努める。さらに亙理町震災復興計画に基づく「鳥の海八景」としての整備を合わせて進め、魅力ある「鳥の海」を亙理町の復興のシンボルとし、自然豊かで賑わいのある町づくりを目指すものである。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：25,000千円(平成24年度事業費【申請済】：5,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災後の鳥の海の水環境の把握 鳥の海における水産資源生産力の改善方策検討 鳥の海の農水系復興事業への反映方針の検討 関係機関連絡調整会議 鳥の海のさらなる環境改善に向けた課題の抽出 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-2
要綱上の事業名称	(22) 避難誘導施設整備事業
細要素事業名	防災拠点施設整備事業(荒浜小学校避難階段整備事業)(平成25年度分)
<p>事業概要</p> <p>集団移転先の荒浜中野団地整備と併せ、近隣住民等が震災時に安全に避難できるよう、荒浜小学校(一次避難施設指定予定)校舎の東西に避難階段を整備し、震災に強いまちづくりを行うもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P23 防災拠点・避難施設の整備</p> <p>P29～30 教育環境の整備・充実と生涯学習・スポーツ活動の充実</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成24年度></p> <p>設計</p> <p><平成25年度></p> <p>工事</p> <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災において、荒浜地区は津波により甚大な被害を受けた。荒浜小学校の津波浸水は60cm程度であり校舎1階部分の修繕を行い、平成24年3月に再校予定である。</p> <p>地域的にも、津波からの一次避難所(早急に内陸、高台方面に避難することが困難な場合に備えるため)が必要であり、比較的高層な建物である既存の公立学校に避難用の階段を設置することにより、地域住民の避難時の利便性を図る。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：50,000千円(平成24年度事業費【申請済】：設計3,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-4				
要綱上の事業名称	(39) 観光資源発掘・PR事業				
細要素事業名	復興・活性化プロジェクト事業(平成25年度分)				
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業と併せ、復興という短期的な視点、地域活性化という長期的な視点から亘理町の復興及び地域活性化に必要な復興・地域活性化プロジェクトを検討・構築・実施し、復興事業の加速化や生業の活性化などを図り、被災者の生活再建を実現するもの。</p> <p>また、本町において、その他被災地で活用可能な先進的な事業実績・モデルを作り、積極的に対外的にPRするとともに、そのモデルが他の被災地でも活用されることで、被災地全体の復興支援に寄与することを目指す。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P14 復興未来プロジェクト 観光にぎわいプロジェクト</p> <p>P34～P39 第3章「なりわい」と「にぎわい」のまちづくり</p> <p>1) 農林業の復興 2) 水産業の復興 3) 商工業の復興 4) 観光業の復興・新たな観光の創出</p> <p>5) 企業誘致の推進と元気な亘理の創造</p>					
<p>当面の事業概要</p> <p><平成25年度> 19,587千円</p> <p>1. 亘理町復興・活性化検討委員会設立(平成24年度から継続。平成25年度においては月1～2回程度開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 亘理町ブランディング、PR、農産水産物や観光客等の観光資源発掘 ・ 亘理町の復興・地域活性化につながる復興交付金制度を活用したハード整備の検討 等 <p>2. 各種事業に関する調査事業(平成24年度から継続)</p>					
<p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災により、家屋・産業等に甚大な被害を受け、現在、市街地整備や復興事業(ハード整備)を実施しているが、町の課題や魅力(ソフト整備)に遅れがあり、まちづくり全般について、ハード整備と連動した本町の魅力等の整理、具体的方策を検討し、成果を積極的に発信し、被災地モデルの構築を行う。</p>					
<p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費 19,587千円(平成24年度事業費【申請済】: 8,424千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>内訳 ① 検討委員会報酬・報償費・旅費</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>② 各種調査・事業費</td> <td>16,300千円</td> </tr> </table>		内訳 ① 検討委員会報酬・報償費・旅費	3,287千円	② 各種調査・事業費	16,300千円
内訳 ① 検討委員会報酬・報償費・旅費	3,287千円				
② 各種調査・事業費	16,300千円				

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-5
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	公共・公益施設整備調査事業 (鳥の海湾防災緑地)
<p>事業概要</p> <p>鳥の海湾背後集落 (集団移転先荒浜中野地区・現地再建者など) の安全のために整備する鳥の海湾防災緑地について、効果的に整備するため基本計画を作成するもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P8、P14、P20-21</p> <p>(土地利用構想、復興未来プロジェクト、安全で安心な防災まちづくり)</p> <p>概 要：鳥の海湾内緩衝緑地帯整備事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成 25 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>鳥の海湾から流入した津波により、背後地集落や農地などに甚大な被害を受けた。町の復興計画では、鳥の海湾岸に防災緑地を整備し最大クラスの津波 (L2 津波) に対する安全性を向上させ、被害のあった背後地にまちづくりを行うことにしている。防災緑地が効果的に整備できるよう検討しながら、本計画を作成するものである。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成 25 年度事業費：20,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-6
要綱上の事業名称	(16) 学校就学環境整備事業
細要素事業名	学校就学環境整備事業 (荒浜小学校プール)
全体事業費	159,299 千円
<p>【事業概要】</p> <p>集団移転先の荒浜中野団地や公営住宅の整備と併せ、勤労青少年ホーム敷地内に設置されていた荒浜小学校水泳プールを小学校西側へ移転整備し、荒浜地区の就学環境の改善を行うもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p> 該当箇所：P23 防災拠点・避難施設の整備 (小中学校大規模改修等整備事業)</p> <p> P29 教育環境の整備・充実と生涯学習・スポーツ活動の充実</p> <p>【当面の事業概要】</p> <p><平成 25 年度></p> <p>解体、用地取得、設計、工事</p> <p>【東日本大震災の被害との関係】</p> <p>荒浜小学校水泳プールは、東日本大震災の津波により破損し使用不可となったため、児童の学習環境を早期に正常化する必要がある。</p> <p>【事業費内訳】</p> <p>◆平成 25 年度事業費： 159,299 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・監理 30,000 千円 ・解体・設置工事 114,299 千円 ・用地 15,000 千円 <p>【事業位置図】</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-7
要綱上の事業名称	(24) 市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	市街地復興関連小規模施設整備事業 (荒浜地区)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業による移転先団地整備に併せ、既存市街地等への接続道路を一体的に整備し住環境の整備を図るもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援</p> <p>概要：防災集団移転促進事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p>事業量 ①町道荒中北線 L=230m W=6.0m ②町道中野地区公道線 L=260m W=6.0m ③町道箱根田東線 L=700m W=6.0m</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 1式 (3路線 L=1,190m) ・用地買収 1式 ・道路整備工事 <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 1式 ・道路整備工事 <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備工事 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた沿岸部地域の集団移転のため、移転先の住環境を整備するもの。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費： 45,000千円 (平成26年度以降事業費：55,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 25,000千円 ・用地買収 1,000千円 ・道路整備工事 19,000千円 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-2-8
要綱上の事業名称	(40) 観光交流・物産交流センター整備事業
細要素事業名	観光交流拠点整備事業 (わたり温泉島の海)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転跡地で計画している観光ゾーンの整備と併せ、観光の拠点である「わたり温泉島の海」を整備し、賑わいのある町づくりを行う。</p> <p>亘理町震災復興計画 該当箇所：P38 観光業の復興・新たな観光の創出</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・工事 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災の津波により、「わたり温泉島の海」は、1階部分の施設などに甚大な被害を受けた。観光拠点として当該施設を復旧することにより、町の賑わいを取り戻すものである。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：100,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 97,900千円 ・設計料 2,100千円 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-4
要綱上の事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	住宅再建業務コーディネート事業
<p>事業概要</p> <p>災害公営住宅整備事業について、早期完了のため総合評価プロポーザル方式により設計・施工の一括発注を行う予定である。当該事業について、概略設計作成や集団移転促進事業との調整など、事務作業が膨大となるため、資料作成やアドバイザー業務などの発注者支援業務を委託するものである。</p> <p>移転促進区域内から移転する被災者の中には、自己で住宅を再建することが困難な方も多数おり、防災集団移転の団地整備に併せ災害公営住宅を早期に整備し、被災者全体の早期再建を実現させるものである。</p> <p>亘理町震災復興計画 該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概略設計の作成に係る支援 ・プロポーザル募集書類の作成・選定等に係る支援 ・移転・入居者意向の設計・施工への反映方法の検討支援 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>震災により、広域に家屋が被災し、住宅再建が困難な住民が多く発生した。</p> <p>町の復興のためには、住宅再建が困難な住民に対し、生活の基盤となる住宅の再建が喫緊に必要である。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：5,100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注者支援業務委託 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-6
要綱上の事業名称	(6) 公共・公益施設整備調査事業
細要素事業名	公共・公益施設整備調査事業 (公共ゾーン)
<p>事業概要</p> <p>防災拠点となる、公共ゾーンの施設配置計画を策定するもの。 安全な地区への集団移転事業と併せ、災害時に防災活動の拠点となる公共ゾーンを整備し、より災害に強いまちづくりを推進するものである。</p> <p>(建設予定施設)</p> <p>① 役場庁舎 ② 保健福祉センター ③ 福祉作業所 ④ 学校給食センター ⑤ 町民会館 ⑥ 総合体育館 ⑦ 防災備蓄倉庫</p> <p>亘理町震災復興計画 該当箇所：P 2 3 防災拠点・避難施設の整備</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成25年度> 基本計画 (配置計画)</p> <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災により役場庁舎などの公共施設も甚大な被害を受けた。各施設を効果的に集約し、防災拠点として早期に整備する必要がある。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費 : 8,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画 	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-8
要綱上の事業名称	(11) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	下水道整備事業（亘理地区）
<p>事業概要</p> <p>災害公営住宅（亘理上浜街道地区）の整備に併せ、下水道を整備するもの。 （污水管布設（開削工法）φ200mm L=390m）</p> <p>移転促進区域内から移転する被災者で、当該地区の災害公営住宅に入居を希望される方も多数いることから、防災集団移転事業と併せ災害公営住宅の早期整備のため当該事業を行うものである。</p> <p>亘理町震災復興計画 該当箇所：P24、P29（公共交通とライフラインの整備）（住環境の再建への支援） 概要：災害公営住宅整備事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成25年度> 工事</p> <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災により、広域に家屋が被災し、住宅再建が困難な住民が多く発生した。 町の復興のためには、住宅再建が困難な住民に対し、生活の基盤となる住宅の再建が喫緊に必要である。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：29,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-8
要綱上の事業名称	(1 1) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	下水道計画策定事業
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業に係る移転先が、下水道計画区域外となっているため、これらの地区の下水道全体計画等を策定するもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P24、P29（公共交通とライフラインの整備）（住環境の再建への支援）</p> <p>概 要： 防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成 25 年度></p> <p>調査・計画策定</p> <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災による津波により、沿岸部住居については壊滅的な被害を受けた。今後の復興計画における移転先において、団地までの下水道整備を行い、早期の住環境整備に寄与するものであり、被災者の自立再建を図るもの。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成 25 年度事業費：10,000 千円</p> <p>・調査・計画策定</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★D23-3-9
要綱上の事業名称	(18) 被災者へのコミュニティバス運行支援事業
細要素事業名	コミュニティバス運行事業(さざんか号)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業などの住宅再建事業を進めているが、整備されるまでの間、仮設住宅などに居住する住民の日常生活の交通手段を確保する必要がある。</p> <p>本事業は、仮設住宅と既存集落などの市街地を結ぶ町民バスを運行し交通弱者を支援するものである。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P 2 4 公共交通とライフラインの整備</p> <p>概 要：被災地域や交通空白地域の総合的な公共交通の確保</p> <p>当面の概要</p> <p><平成 2 5 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通乗降調査等実施 ・被災者等の通院、買物等に対応するコミュニティバスの運行業務委託 ・車両購入費 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>今回の震災は被災状況が甚大であり、居住状況や移動ニーズが大きく変化しており、被災地域等の生活交通確保に対応するため、利用者の適切なニーズ把握に努め、被災地域等の総合的な公共交通を再構築する必要がある。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成 25 年度事業費：43,692 千円（平成 26.27 年度予定事業費計：80,000 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗降調査等調査費 3,000 千円 ・運行業務委託経費等 30,100 千円 ・車両購入費(3 台) 10,592 千円 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-10
要綱上の事業名称	(24) 市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	市街地復興関連小規模施設整備事業 (亘理地区)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業による移転先団地整備に併せ、既存市街地との接続道路を一体的に整備し住環境の整備を図るもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援</p> <p>概要：防災集団移転促進事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p>事業量 ①町道下茨田1号線 L=340m W=6.0m ②町道下茨田2号線 L=170m W=6.0m ③町道中町江下線 L=60m W=6.0m</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 1式 (3路線 L=570m) ・用地買収 1式 <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補償 1式 ・道路整備工事 L=570m <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた沿岸部地域の集団移転のため、移転先の住環境を整備するもの。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費：65,200千円 (平成26年度以降事業費：34,800千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 53,700千円 ・用地買収 11,500千円 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-3-11
要綱上の事業名称	(32) 地域防災・減災 (BCP) 計画策定調査事業
細要素事業名	地域防災対応マニュアル等策定事業
<p>事業概要</p> <p>今回の震災の際、既存の災害時職員対応マニュアルだけでは、対応しきれない状況であった。改めて本町職員行動等を検証し、災害初動対策時における町の組織と職員の行動を順序立てて整理し、不足の事態の対処方法や各部各班の業務項目及び手順などについて説明したマニュアルを作成する。また、新たに避難所の開設から運営について、必要な事項をとりまとめマニュアルを整備する。</p> <p>防災集団移転促進事業と併せ、本事業により災害時に迅速に対応できる体制とすることにより、安全・安心なまちづくりを行うものである。</p> <p>巨理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P 2 5 防災・減災システムの整備と防災教育の推進</p> <p>概要：地域防災計画策定事業</p>	
<p>当面の事業概要</p> <p><平成 2 5 年度></p> <p>災害対策本部運営マニュアル、災害時初動マニュアル、職員初動マニュアル、避難所開設マニュアル、避難所運営マニュアル等の作成</p>	
<p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災は、想定以上の大災害であったため、避難所を運営する上で多種多様な問題が生じた。</p>	
<p>事業費内訳</p> <p>◆平成 2 5 年度事業費：12,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部運営マニュアル作成 ・災害時初動マニュアル作成 ・職員初動マニュアル作成 ・避難所開設マニュアル作成 ・避難所運営マニュアル作成 など 	

※ この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-6-1
要綱上の事業名称	(1 1) 飲用水供給施設・排水施設整備事業
細要素事業名	下水道整備事業 (吉田地区)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業に係る移転先団地整備に併せた下水道の整備事業。(吉田上塚地区)</p> <p>マンホールポンプ設置 φ100mm 2台</p> <p>汚水管布設(開削工法) φ150~200mm L=274m</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所:P24、P29(公共交通とライフラインの整備)(住環境の再建への支援)</p> <p>概 要: 防災集団移転促進事業(上塚地区)</p> <p>当面の事業概要</p> <p><平成 25 年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事 <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災による津波により、沿岸部住居については壊滅的な被害を受けた。防災集団移転促進事業の移転先団地までの下水道整備を行い、早期の住環境整備に寄与するものであり、被災者の自立再建を図るもの。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成 2 5 年度事業費: 39,000 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D23-7-1
要綱上の事業名称	(24) 市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	市街地復興関連小規模施設整備事業 (吉田地区)
<p>事業概要</p> <p>防災集団移転促進事業による移転先団地整備に併せ、既存市街地との接続道路を一体的に整備し住環境の整備を図るもの。</p> <p>亘理町震災復興計画</p> <p>該当箇所：P28-29 住環境の再建への支援</p> <p>概要：防災集団移転促進事業</p> <p>当面の事業概要</p> <p>事業量 ①町道浜吉田駅前線 L=250m W=10.0m ②町道大谷地団地駅前線 L=200m W=6.0m</p> <p><平成25年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 1式 (L=450m) ・用地買収 1式 <p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用買・補償 1式 ・道路整備工事 L=200m <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用買・補償 1式 ・道路整備工事 L=250m <p>東日本大震災の被害との関係</p> <p>東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた沿岸部地域の集団移転のため、移転先の住環境を整備するもの。</p> <p>事業費内訳</p> <p>◆平成25年度事業費： 24,000千円 (平成26年度以降予定事業費：76,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査測量設計 17,000千円 ・用地買収 7,000千円 <p>事業位置図</p> <p>別紙のとおり</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。